

# ノヤマ通信

vol.43 (2026.弥生)



## 森のようちえんヒュッテ

【2月の活動記録：5日山の基地、9日山の基地、12日山の基地、19日山の基地、26日山の基地】

### ●活動を見つめるコラム

#### 「雪だるま、作ろう」

前回に引き続き、雪だるまの話です🌨️。雪だるまを作ってから3日後に行ってみると、もうすっかり溶けてなくなっていました。雪は溶ける。あたりまえのことです。では、「雪だるまを作ったってどうせ溶けるから、雪だるまなんて作らない」という子がいたらどう思うでしょうか？



遊びの定義にはいろいろありますが、アメリカの精神科医スチュアート・ブラウン博士は、遊びを「結果よりもプロセス自体が目的となった、内発的に動機づけられた自発的活動」と説明しています。

例えば、鬼ごっこをして走り回る子どもたちは、「運動能力を伸ばそう」といった目的意識を持って走るわけではありません。ただ楽しいから、やりたいから鬼ごっこをしているのです。そして「今日は天気がいいから、鬼ごっこをして遊びなさい」と大人から強制されて鬼ごっこをすることは、遊びにはなりません。自発的な活動ではないからです🙄。

この定義に照らし合わせると、雪だるまを作る行為は、結果よりも作るプロセスそのものを楽しむ遊びだと言えます。

生きるという行為の終着点には「死」があります。でも、どうせ死ぬんだからどう生きても同じ、というわけではありません。どうせなら、大いにプロセスを楽しみながら子どもたちには生きてほしいと思います。

子どもと一緒に過ごす中で、私たちは遊びの大切さを何度も再認識してきたのではないのでしょうか。日々の忙しさから少し離れて、子どもたちと遊ぶ時間は、自分自身を整えてくれる時間でもあるように思います。まもなく新年度を迎え、新たな生活が始まる家庭も多いと思いますが、プロセスを楽しむことを忘れずに過ごしてもらえたら。そして、たまには山に遊びに来てもらえたらうれしいです。(ゆ)



▲2/26森のようちえん@山の基地

## 👤👤 山の基地

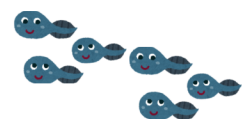
【2月の活動記録：15日…開放日、5日…日常管理】

●開放日は天候が良くなかったためか、身内だけで山の時間を過ごしました。

とは言え、キウイの剪定や薪づくりなどの作業を進めたり、野山の恵みを集めたり、縄跳びの練習にいそしんだり、やることはたくさん。あつという間に時間が過ぎていきました。

今シーズンは、キウイ畑全体の剪定はできませんでしたが、どれくらい実をつけてくれるでしょうか🍓。

●昨年つくったビオトープ池にアカガエルが卵を産みました！天敵のヘビなどが動き出す前に産卵をすることで、卵やオタマジャクシの生存率を高めるためといわれています。たくさんオタマジャクシが生まれ、にぎやかな水辺になってほしいものです🐸。



## ✿✿ その他の活動

### ●日本ジオパークネットワークオンライン研修の開催(2/6)

日本各地にいる生態学系の専門員の  
人たちと一緒に、ジオパーク関係者向  
けの研修会を開催しました。



日本ジオパーク委員会の先生から国際的な生物多  
様性の保全の動向を学んだ上で、ジオパークの運営  
にあたって生態学的な知識がどのように役立つのか  
を考えました。あわせて、各地での生態系保全に関  
する取り組みの紹介も紹介しました。

### ●広島出張 (2/10-11)

知り合いに誘われて、広島修道大学の西村仁志さ  
んの退官記念イベントに参加してきました。松山か  
らフェリーを使ったのですが、移動中もパソコンが  
あれば仕事のできたので、なかなか快適な旅でし  
た。

西村さんは、環境教育やESD、ソーシャル・イノ  
ベーションが専門。大学に所属する前は、環境教育  
事務所を夫婦で立ち上げられており、私たちにとっ  
て大先輩のような方です。初めてお会いしまし  
た。共通の知り合いも多く、まったく初対面とい  
う感じがしませんでした。

イベントでは、「自分のしごと」を見つめ直すた  
めのキャリアの棚卸ワークを体験しました。ノヤマ  
カンパニーのこれからを考える機会になりました。

### ●ツル観察ツアーの開催 (2/14)

西予市観光物産協会からの依頼で、宇和盆地で越  
冬するツルの観察ツアーのガイドを務めました。

外部の方向けの有料ツアーは今回が初めての試  
みでしたが、実際にやってみて気づくことも多くあ  
りました。お客さんからの反応も上々で、来年も開  
催する方向で話が進んでいます。

### ●明浜のジオ研修 (2/21)

明浜町高山地区でのジオ研修の第3回を行いま  
した。今回はゲスト講師として、西予市文化財保護  
委員の岡崎直司さんにお越しいただき、地域固有  
の価値を見つけるための視点についてお話しまし  
ました。

その後、ガイドの手法とし  
て、インタープリテーション  
について解説しました。



### ●上松葉奥池ビオトープの管理 (2/28)

上松葉奥池ビオトープでヨ  
シ刈りを行いました。


ヨシは水辺に生える大型の  
植物で、冬になると立ったま  
ま枯れます。放っておくと倒  
れ、ゆっくり分解されて最後  
は泥になっていきますが、枯  
れたものがたまると、水辺が  
だんだん浅くなってしまいま  
す。そのため、水辺環境の維  
持のため、枯れたヨシを刈っ  
て人の手で運び出す活動が各  
地で行われています。

上松葉奥池ビオトープでは、  
湿地に生える野草の生育環境  
の維持や、池にトンボなどの  
水生昆虫がたくさんすめるよ  
うにすることを目的にヨシ刈  
りを行うことにしています。

人口減少が進む中で、こ  
うした保全活動をこれから誰  
が担っていくのか、というこ  
とが最近考えているテーマです。



## よもやま話

●保育園生活も最後の今年、保護者会長になりま  
した。これまでは規約上、会長は男性になることにな  
っていましたが、男女どちらでもOKという規約にな  
ったのが理由の1つ。また、これまで子どもの小学  
校の運動会を観覧していて、赤組白組の団長がず  
っと6年生の男の子なので、女の子でも団長になれる  
し、ならんのかなあ、どうやって決まるんやろうと  
長女に何度か質問したりしていました。リーダーは  
男性でも女性でも、どちらでもなれるということ  
を意識してほしかったのです。そんなことを子ども  
に話していたものだから、昨年度末の役員決めの時  
に、長女に話した言葉は倍以上の重さと速さをも  
って、自分に返ってきました。「じゃあ、自分はど  
うなんだ？」 と。それが理由の2つ目です。そ  
してこの1年、同学年の保護者と役員さんと先生の力  
を借りまくり、なんとか無事に任務を終えようと  
しています。

皆さま、ヒュッテでもたくさんお世話になって、  
ありがとうございました！新生活を迎えられる方  
も、ふらっと遊びに来てくださいね。(ち)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com